

# 2018年度（2019年3月期） 第3四半期 決算説明会

2019年 1月31日  
セイコーエプソン株式会社

## ■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。

## ■ 事業利益について

事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

## ■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て      比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

年号：断りが無い限り、会計年度を示す

- 2018年度 第3四半期決算
- 2018年度 通期業績予想

## 2018年度 第3四半期累計 | ハイライト

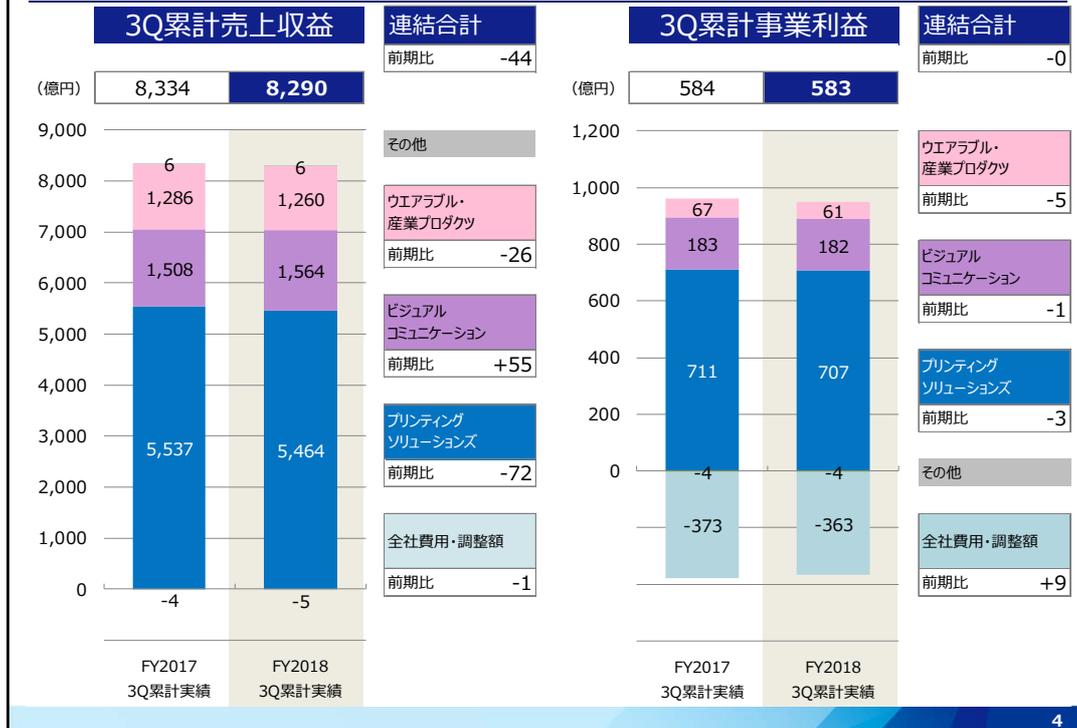


	2017年度		2018年度		前年同期比				
	(億円)	3Q累計実績	%	3Q累計実績	%	増減額	増減率		
売上収益		8,334		8,290		-44	-0.5%		
事業利益		584	7.0%	583	7.0%	-0	-0.1%		
営業利益		522	6.3%	581	7.0%	+59	+11.4%		
税引前利益		510	6.1%	588	7.1%	+78	+15.4%		
親会社の所有者に帰属する 四半期利益		345	4.1%	459	5.5%	+113	+32.8%		
EPS*1 (円)		98.12		130.36					
為替レート (円、指数)	USD	¥111.67		¥111.11					
	EUR	¥128.48		¥129.50					
	その他通貨*2	100		96					
<small>*1 EPS: 基本的1株当たり当期利益 *2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値について、前年同期を100とした指数</small>				前年同期に対する 為替影響額 (億円)		USD	EUR	その他 通貨合計	合計
				売上収益		-12	+6	-96	-102
				事業利益		+3	+3	-52	-45

3

- 2018年度 第3四半期 連結累計期間の実績は、売上収益は減収、四半期利益は増益となりました。
- 売上収益は、前年同期比 44億円 減収の 8,290億円、事業利益は、前年同期並みの 583億円、四半期利益は、113億円 増益の 459億円 です。
- 営業利益以下の変動には、営業収益費用に、前年同期に継続的な円安により発生した為替差損を計上した一方で、今年度は為替差損が減少していること、今年度の第3四半期に一部遊休不動産の売却益を計上したこと、米国税制改定による税金費用の減少などが反映されています。
- また、当連結累計期間の為替変動による影響額は、売上収益で 102億円 のマイナス、事業利益で 45億円 のマイナスとなりました。

# 2018年度 第3四半期累計 | 事業セグメント別



➤ こちらは、第3四半期 連結累計期間における、セグメント別の売上収益、事業利益の前年同期 との比較になります。

## 2018年度 第3四半期実績 | ハイライト

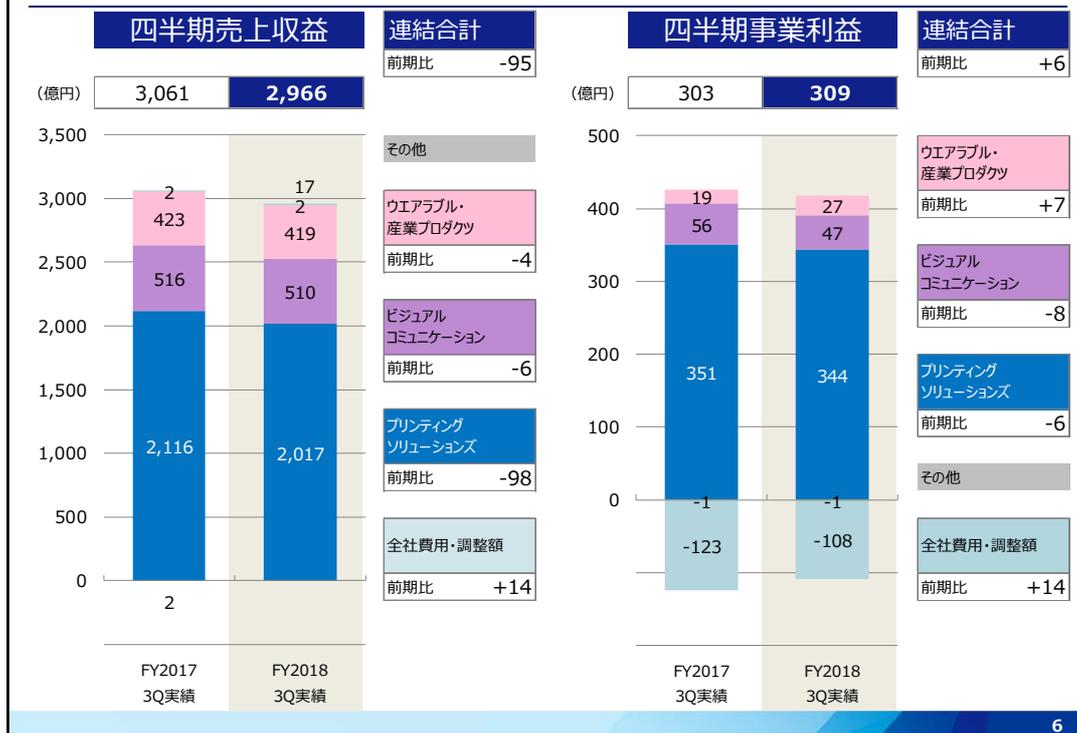


	2017年度		2018年度		前年同期比		
	(億円)	3Q実績	%	3Q実績	%	増減額	増減率
売上収益		3,061		2,966		-95	-3.1%
事業利益		303	9.9%	309	10.4%	+6	+2.2%
営業利益		285	9.3%	325	11.0%	+40	+14.1%
税引前利益		280	9.2%	319	10.8%	+39	+14.1%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益		195	6.4%	257	8.7%	+61	+31.3%
EPS*1 (円)		55.57		72.98			
為替レート (円、指数)	USD	¥112.92		¥112.80			
	EUR	¥132.96		¥128.73			
	その他通貨*2	100		96			
		*1 EPS:基本的1株当たり当期利益					
		*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値ついで、前年同期を100とした指数					
		前年同期に対する 為替影響額 (億円)		USD	EUR	その他 通貨合計	合計
		売上収益		-0	-16	-49	-66
		事業利益		+0	-10	-22	-33

5

- 2018年度 第3四半期実績は、減収、増益となりました。
- 売上収益は、前年同期比 95億円 減収の 2,966億円、事業利益は、6億円 増益の 309億円、四半期利益は、61億円 増益の 257億円 です。
- 当四半期の為替変動による影響額は、売上収益で 66億円 のマイナス、事業利益で 33億円 のマイナスとなりました。

# 2018年度 第3四半期実績 | 事業セグメント別



- こちらは、当第3四半期におけるセグメント別での売上収益、事業利益の前年同期比較です。
- 詳細は後ほどご説明します。
- なお、全社費用・調整額が特許料収入などにより増益となりました。
- また、10月30日に開示した通期業績予想の前提となる社内計画に対しては、売上収益・事業利益ともに未達となりました。
- 社内計画に対する為替影響は、売上収益・事業利益ともにプラスとなりました。

- 第3四半期に入り、中国経済が想定を超える規模で減速
  - 市場成長の鈍化・チャネル在庫絞り込み
    - ✓ 大容量インクタンクモデル・ロボット・SIDM・マイクロデバイスなどを中心に多くの事業に影響
- 中南米を始めとした一部エマージング地域の通貨下落・経済停滞が継続
  - 完成品事業中心に販売が軟調に推移
- 先進国での競合によるインクカートリッジモデルの価格攻勢が継続
  - エプソンは価格維持施策を堅持し、大容量インクタンクモデルへのビジネスモデル転換に注力

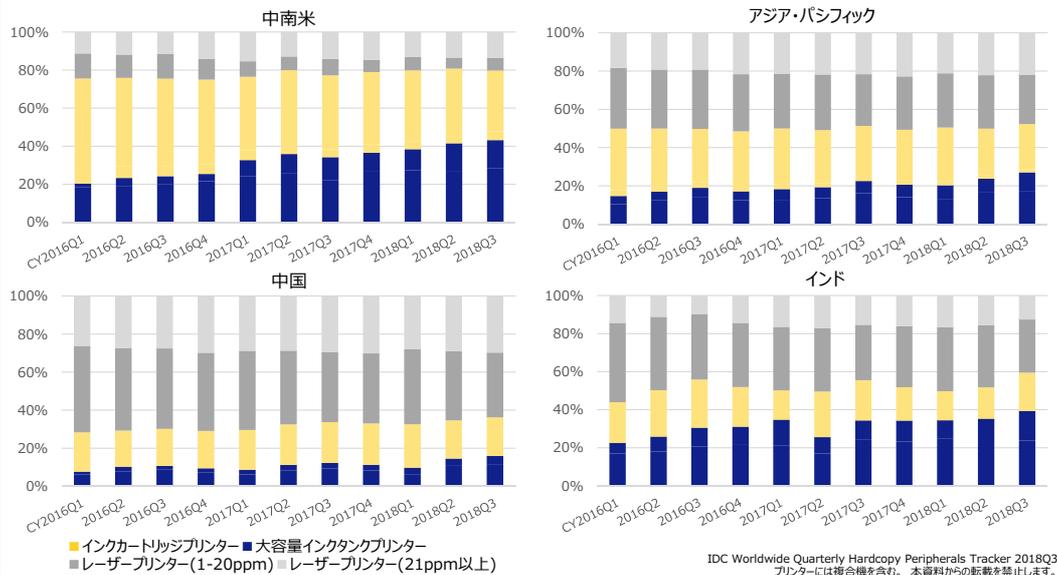
- 個別事業の説明の前に、第3四半期業績のポイントをご説明します。
- 中国経済は、第3四半期に入ってから、想定を大きく超える規模で減速しました。
- プリンターでは、大容量インクタンクモデルなどで顧客需要が停滞し、チャネルでの在庫絞り込みの動きが見られました。
- ロボットやSIDMでは、顧客での投資が絞り込まれたことで、大きな影響を受けました。
- このほか、マイクロデバイスでも、モバイル機器や家電などの民生機器需要が減退しました。
- また、中南米を始めとした、一部のエマージング地域では、通貨下落や経済が停滞する中、エプソンは、エマージング地域では通貨変動に応じた現地販売価格の設定を基本としているため、現地販売価格が上昇し、プリンターなどの完成品事業を中心に、販売が軟調に推移しました。
- 先進国では、競合によるインクカートリッジモデル本体の価格攻勢が継続しています。
- カートリッジモデルの価格攻勢に対しては、エプソンはいたずらに数量を追うことなく価格維持施策を堅持し、大容量インクタンクモデルへのビジネスモデルの転換に注力しています。
- このように、エプソンを取り巻く環境は、大変厳しいものとなり、これらは業績にも大きな影響を与えることとなりました。

- 大容量インクタンクモデルの成長
  - 市場環境変化の影響を受けるものの、成長継続
  - 本格的なオフィス需要獲得に向けたラインアップ・サービス拡充に向けた準備が進む
- 高速ラインインクジェット複合機
  - お客様・チャネルへの認知が進み、販売が着実に増加
  - ラインアップ拡充への準備が進む
- プロフェッショナルプリンティングで注力分野拡大継続
  - PrecisionCore生産能力拡大に同期した製品ラインアップ拡大の準備とプリントヘッド外販顧客との商談進展
- プロジェクター・ロボットでの将来に向けた準備

- 外部環境は厳しいものとなりましたが、一方で、戦略は着実に進展し、また、将来成長に向けた準備も着々と進めることができました。
- 大容量インクタンクモデルは、市場環境変化の影響を受けることとなりましたが、成長は継続しています。
- また、レーザープリンターからの本格的な置き換えを狙い、ラインアップやサービスなどの拡充に向けた準備を進めています。
- 高速ラインインクジェット複合機は、スタート当初こそ、認知向上に時間を要しましたが、訴求内容の変更や、販売プランをきめ細かく用意するなどを重ねた結果、お客様やチャネルへの認知が進み、各地で、販売が着実に増加しています。加えて、既存のオフィス向けプリンターとの相乗効果も生まれ始めており、成長への手ごたえを感じています。
- さらに、蓄積した顧客知見を活かしたラインアップ拡充に向けた製品開発など、長期視点での取り組みは着実に前進しています。
- また、プロフェッショナルプリンティングにおける注力分野での拡大も継続しています。
- 来年度に新工場が稼働する、PrecisionCoreプリントヘッドの活用にあたっては、インクジェットプリンターの高性能化とラインアップ拡大に向けた準備はもちろんですが、プリントヘッドの外販ビジネス拡大に向けて、商談も進んでいます。
- 一部の地域では、エプソンのオフィス向けプリンターに搭載しているプリントヘッドが、第三者によって商業・産業向けプリンターに転用される事例が発生しています。これは、エプソンの成長に対する阻害要因となっていたことは事実ですが、一方で、エプソンのプリントヘッドへのニーズが高いことを実証するものでもあります。
- 今後は、幅広い印刷のデジタル化ニーズに対応するため、プリントヘッドの外販ビジネスを強化していきます。
- プロジェクターにおいても、レーザー光源搭載モデルの拡充など、成長に向けた製品開発を進めています。
- ロボットも、中国向けは厳しい状況ですが、欧米などでは、顧客や用途の広がりが出ています。将来の支柱事業となる姿を描きながら、成長への準備を進めています。

- 中南米に続き、アジア・パシフィックでは大容量インクタンクモデルの比率が上昇
- オフィスプリントに適したラインアップの充実を進める

A4サイズプリンタータイプ別市場動向（台数構成比）



IDC Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker 2018Q3  
プリンターには複合機を含む。本資料からの転載を禁止します。

- こちらは、第2四半期にお示した、各地域でのプリンタータイプ別構成比推移の更新版です。
- 大容量インクタンクモデルは大きな成長を実現してきたとはいえ、まだまだ、レーザープリンターがオフィスでのプリンターの大多数を占めています。
- これまでの実績に手ごたえを感じながらも、エプソンの目指している、インクジェットによるレーザーからの置き換えは、その途上であり、これからが本格的な置き換えのスタートだと考えています。
- 今年度は、先進国にも、モノクロタイプの大容量インクタンクモデルを投入するなど、店舗や小規模オフィスでのプリント需要獲得に向けスタートを切りました。
- これまでも、既存のビジネスチャネル経由で、入札案件の獲得が進んでおり、また、高速ラインインクジェット複合機や大容量インクパックモデルと合わせて、オフィスのお客様や、新たなビジネスチャネルに対し、総合的な提案に基づく価値の提供も進んでいます。
- とはいえ、オフィスでのプリントに適した大容量インクタンクモデルのラインアップは不十分であり、この流れを加速させるために、ラインアップの充実を進めていきます。

				(億円)	
プリンティングソリューションズ	2017年度 3Q実績	2018年度 3Q実績		前年 同期比	
売上収益	2,116	2,017		-98	◆ IJP: ・大容量インクタンクモデルは市場停滞の影響を受けながらも増加 ・インクカートリッジモデルは価格維持施策により販売減少 ・インクは減少 ◆ SIDM: ・中国向け販売減少 ◆ 大判プリンター: ・稼働台数増加に伴いインク販売が堅調 ◆ POSプリンター: ・前年同期並み
プリンター	1,557	1,438		-118	
構成比 IJP	84%	85%			
SIDM	8%	7%			
その他	8%	8%			
プロフェッショナルプリンティング	523	531		+7	
その他	39	47		+7	
事業間売上収益	-4	-0		+4	
セグメント利益	351	344		-6	
セグメント利益率	16.6%	17.1%			

IJP : Inkjet Printers  
 SIDM : Serial Impact Dot Matrix Printers

- ここから、個別事業の前年同期との比較をご説明します。
- 始めに、プリンティングソリューションズです。
- 当セグメントは減収となりました。
- プリンター事業の売上収益は、減収となりました。  
 インクジェットプリンターでは、大容量インクタンクモデルは、前年度からの増加は継続していますが、中国や中南米を始めとした一部のエマージング地域での経済活動停滞の影響などを受けたことで、増加のスピードが鈍化しました。  
 インクカートリッジモデル本体は、価格維持施策により、販売数量減少となりました。  
 また、インク売上は、本体稼働台数減少により減少しました。  
 SIDMについても、中国での需要減により販売減少となりました。
- プロフェッショナルプリンティングの売上収益は、前年同期並みとなりました。  
 注力分野での本体稼働台数の増加に伴い、インク売上が堅調に推移したほか、テキスタイル分野をはじめとした注力分野での本体販売が増加しましたが、為替のマイナス影響を受けました。
- セグメント利益は、インクカートリッジモデル本体の販売・生産数量減少に伴う利益増加影響の一方で、減収や為替のマイナス影響により前年同期並みとなりました。
- なお、セグメント利益のうち、プリンター事業が占める割合は、6割半ば程度となりました。
- 社内計画に対しては、売上収益・セグメント利益とも未達となりました。
- プリンター事業では、大容量インクタンクモデルやSIDMが、外部環境の変化を受け数量未達となったほか、インクカートリッジモデル本体も価格維持施策を堅持したことで、数量未達となりました。
- 以上によりプリンター事業は売上・利益ともに未達となりました。
- プロフェッショナルプリンティングは、概ね計画通りとなりました。

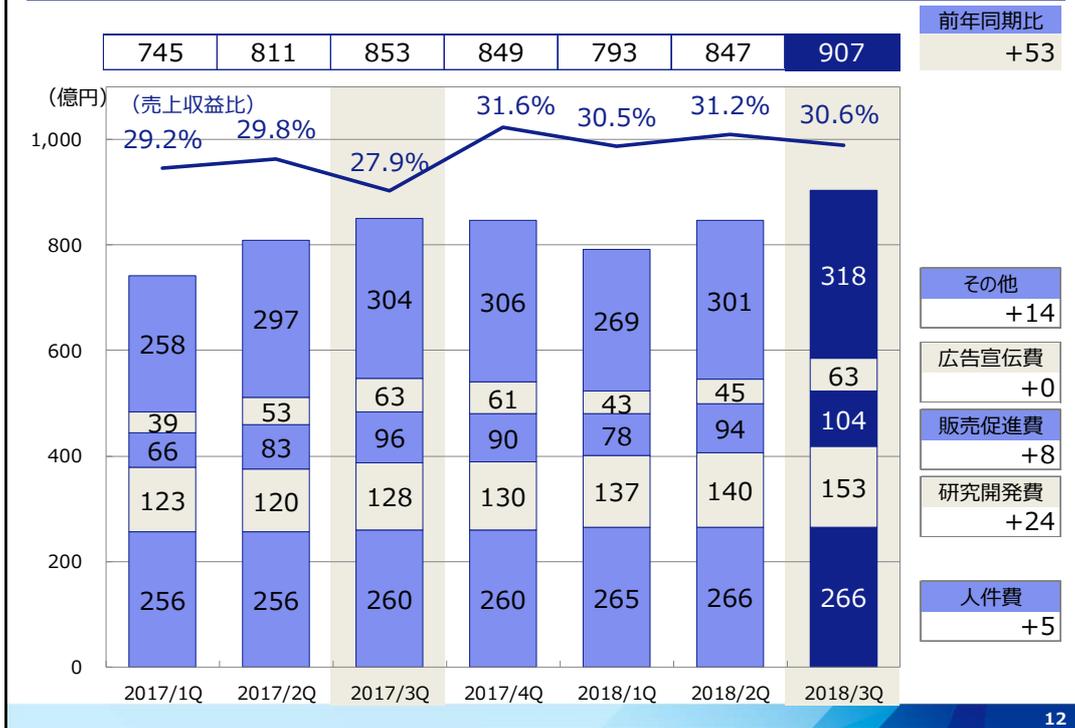
				(億円)	
ビジュアルコミュニケーション	2017年度 3Q実績	2018年度 3Q実績	前年 同期比		
売上収益	516	510	-6		◆ プロジェクター： ・ 高光束モデル、超短焦点モデルの販売増 ・ ホーム向けの販売減
セグメント利益	56	47	-8		
セグメント利益率	10.9%	9.4%			

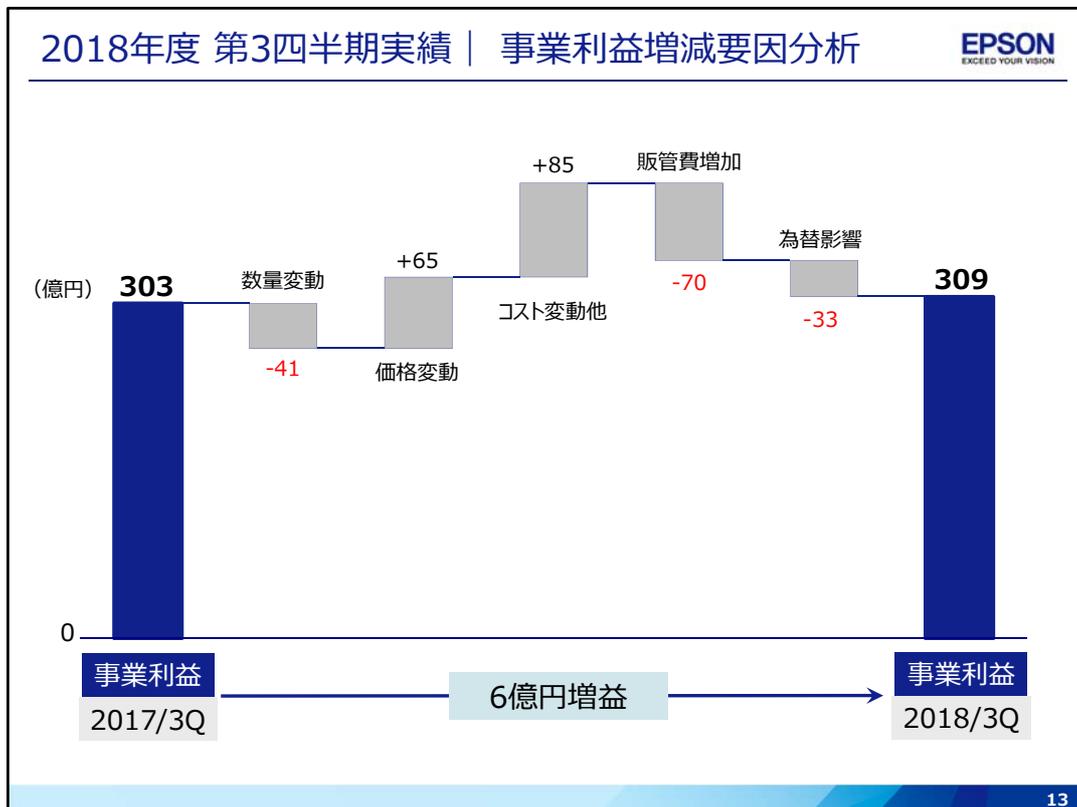
				(億円)	
ウェアラブル・産業プロダクツ	2017年度 3Q実績	2018年度 3Q実績	前年 同期比		
売上収益	423	419	-4		◆ ウォッチ： ・ 国内向けが増加
ウエアラブル機器	132	140	+8		
ロボティクスソリューションズ	53	51	-2		◆ ロボット： ・ 中国向けの需要が急速に減退 ・ 欧米向けが増加
マイクロデバイス他	254	239	-15		
事業間売上収益	-16	-11	+4		◆ 水晶： ・ 民生機器向けなどが減少
セグメント利益	19	27	+7		◆ 半導体： ・ 内需向けなどが減少
セグメント利益率	4.7%	6.6%			

- ビジュアルコミュニケーションの売上収益は、前年同期並みとなりました。  
プロジェクターで、高光束や超短焦点モデルが増加した一方で、  
ホーム向けが、9月に発生した北海道胆振東部地震により、千歳事業所の  
プロジェクター用小型液晶ディスプレイの生産が一時的に停止した影響があったことや、  
サッカーワールドカップ需要の反動により減少しました。
- セグメント利益は、為替のマイナス影響により、減益となりました。
- 社内計画に対しては、売上収益・事業利益とも計画通りとなりました。
  
- ウエアラブル・産業プロダクツの売上収益は、前年同期並みとなりました。  
ウエアラブル機器は、上期までは低調であった国内向けウォッチの販売が増加し、  
増収となりました。  
ロボティクスソリューションズは、中国で投資需要減の影響を受けたものの、  
欧米ではロボットが増加したことに加え、ICハンドラーでも案件を獲得したことにより  
前年同期並みとなりました。  
マイクロデバイス他は、水晶で、中国の景気減速の影響を受け、民生機器向けなどが  
減少したほか、半導体も内需向けなどが減少したことにより、減収となりました。
- セグメント利益は、マイクロデバイス他の減収影響があったものの、ウエアラブル機器の  
費用削減により増益となりました。
- 社内計画に対しては、売上収益・事業利益とも、ロボティクスソリューションズや  
マイクロデバイス他が未達となった一方で、ウエアラブル機器が上回ったため、  
計画通りとなりました。

# 販売費および一般管理費 主要科目別推移

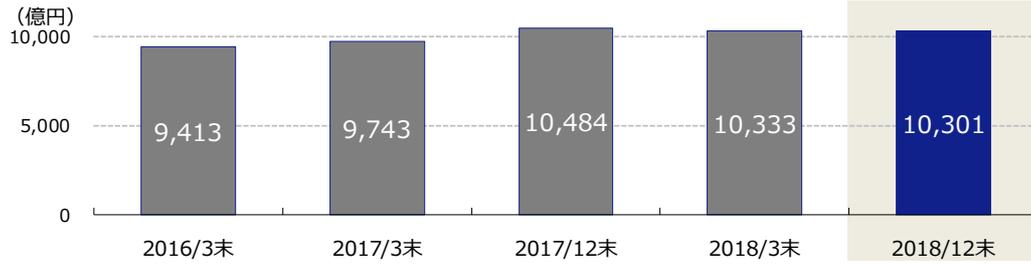


- 販売費及び一般管理費の四半期推移は、ご覧のとおりです。
- 第3四半期は、前年同期から 53億円の増加となりました。
- これは、プリンティングソリューションズの研究開発および、継続的に実施している戦略製品のプロモーション活動の強化や、販売体制の強化などによるものです。

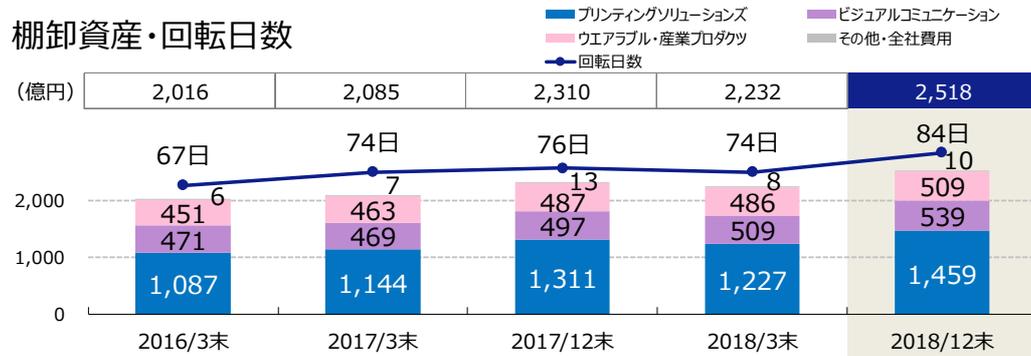


- 第3四半期事業利益増減の要因分析は、ご覧のとおりです。
- 数量変動は、大容量インクタンクモデル本体やインクボトル、大判プリンター用インクなどでプラスとなりましたが、インクカートリッジ、SIDM、プロジェクター、マイクロデバイスなどのマイナスが上回りました。
- 価格変動は、価格維持施策を継続しているインクカートリッジモデル本体のプラスに加え、大容量インクタンクモデル、プロジェクター、ウオッチでのミックス改善が進んだことでプラスとなりました。
- コスト変動他は、インクカートリッジモデル本体の生産減少に伴う費用の減少に加え、大判プリンターやマイクロデバイスでもコスト改善が進んでいることでプラスとなりました。なお、特許料収入などの変動は、コスト変動他の一部として加算しています。
- 販管費の増加は、先ほどご説明したとおり、研究開発費、販売促進費の増加などによるものです。

資産合計

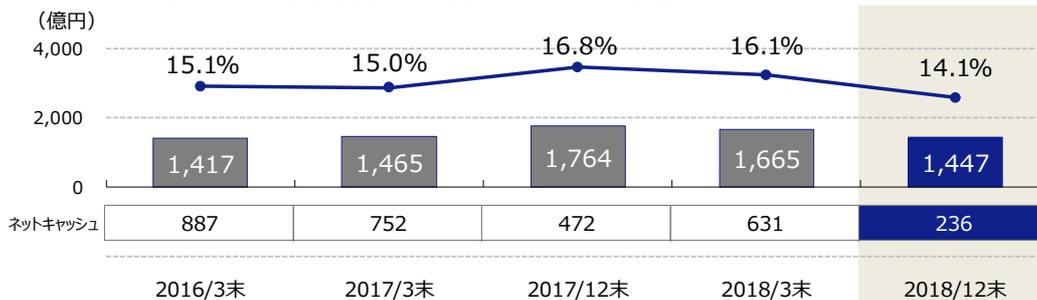


棚卸資産・回転日数

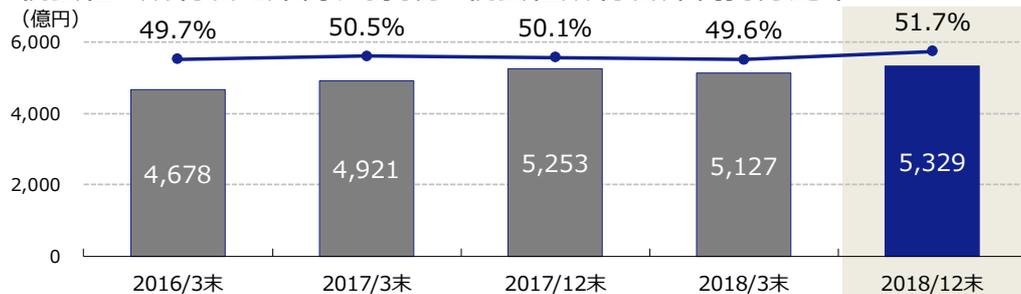


- 財政状態計算書の主要項目について、ご説明します。
- 資産合計は、  
棚卸資産、有形固定資産などの増加の一方で、  
現金および現金同等物が、有形固定資産などの取得や  
配当金の支払いなどにより減少したことにより  
前期末に対して31億円減少し、1兆 301億円となりました。
- 棚卸資産は、インクジェットプリンター本体やプロジェクターの在庫増加などにより、  
前期末に対して286億円増加し、2,518億円となりました。
- 環境変化の影響により販売未達となった結果、高い水準となっておりますが、  
年度末での適正水準化に向けて、製販での取り組みを開始しています。

有利子負債・有利子負債依存度、ネットキャッシュ



親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者帰属持分比率



- 有利子負債は、  
前期末に対して217億円減少の、1,447億円となり、  
資産合計の有利子負債依存度は14.1%となりました。
- ネットキャッシュは、236億円となりました。
- 親会社の所有者に帰属する持分は、  
前期末に対して202億円増加の5,329億円となり、  
親会社所有者帰属持分比率は、51.7%となりました。

- 2018年度 第3四半期決算
- 2018年度 通期業績予想

## 2018年度 通期業績予想 | ハイライト



	2017年度			2018年度			増減額		
	(億円)	実績	%	10/30予想	%	1/31予想	%	前期比	10/30予想比
売上収益		11,021		10,900		10,700		-321	-200
								-2.9%	-1.8%
事業利益		747	6.8%	800	7.3%	650	6.1%	-97	-150
								-13.1%	-18.8%
営業利益		650	5.9%	770	7.1%	620	5.8%	-30	-150
								-4.6%	-19.5%
税引前利益		626	5.7%	760	7.0%	610	5.7%	-16	-150
								-2.7%	-19.7%
親会社の所有者に帰属する 当期利益		418	3.8%	600	5.5%	500	4.7%	+81	-100
								+19.5%	-16.7%
EPS* <sup>1</sup> (円)		118.78		170.34		141.95			
為替レート (円、指数)	USD	¥110.85		¥110.00		¥110.00			
	EUR	¥129.66		¥128.00		¥127.00			
	その他通貨* <sup>2</sup>	100		-		94			
第4四半期の 為替前提(円)	USD								
	EUR								
	その他通貨合計								
	USD	105.00		EUR	120.00				
	為替感応度* <sup>3</sup>								
	売上収益					△30	△15		△30
	事業利益					+5	△10		△13

\*1 EPS：基本的1株当たり当期利益      \*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて加重平均した値ついて、前期を100とした指数  
\*3 USD/EURは1円の円高による年間影響額（億円）、その他通貨は1%の円高による年間影響額（億円）

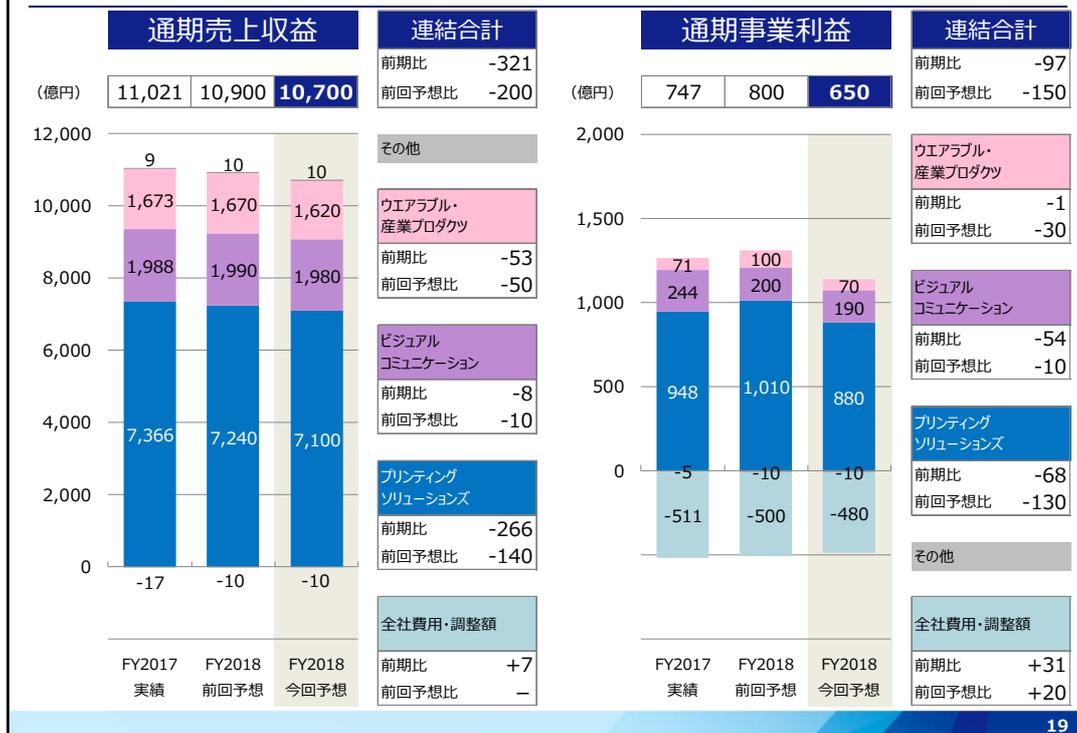
17

- 続いて、2018年度通期予想をご説明します。
- 2018年度通期の業績予想は、  
売上収益は 1兆 700億円、  
事業利益は 650億円、  
当期利益は 500億円 となります。
- 前回予想からは、売上収益は200億円の下方修正、  
事業利益は150億円の下方修正となります。
- 今回の業績予想では、第4四半期の為替前提を  
USDは105円、ユーロは120円とし、  
その他通貨は、足元のレートに対して3-4%程度円高水準に見直しました。
- 予想前提の見直しを行った結果、前年度に対する通期の為替影響は、  
売上収益で約260億円、事業利益で約120億円のマイナス影響を見込みます。

- 外部環境変化リスクを織り込む
  - 経済活動の停滞が継続
  - レーザープリンターからの置き換えを進めている  
大容量インクタンクモデルは拡販施策を実施
- 厳しい環境を認識し、費用執行は一層の引き締めを実施
- 将来成長に向けた準備は遅滞なく進める

- ここで、第4四半期の前提をご説明します。
- 第3四半期の業績を踏まえ、第4四半期に、外部環境変化のリスクを織り込みました。
- エプソンを取り巻く環境には、依然として不透明な部分が多く、中国経済の停滞や一部地域での通貨下落・経済の停滞は継続するものとなりました。
- レーザープリンターからの置き換えを進めている大容量インクタンクモデルは、販売状況を見極めながら、拡販施策を実施する前提です。
- このように、厳しい環境であることを認識したうえで、費用執行にあたっては、効果の再検証などをしたうえで案件を厳選し、また、必要な案件においてもさらなる費用削減の検討を行うなど、一層の引き締めを図っていきます。
  
- ただし、先ほどもご説明した通り、戦略の成果は着実に現れており、将来成長に向けた準備は、遅滞なく進めていきます。

# 2018年度 通期業績予想 | 事業セグメント別



- こちらは、売上収益、事業利益のセグメント別の内訳です。
- 各セグメントで外部環境変化による影響や為替前提の変更による影響を反映しました。

(億円)

プリンティングソリューションズ	2017年度 実績	2018年度 前回予想	2018年度 今回予想	前期比	前回予想比
売上収益	7,366	7,240	7,100	-266	-140
プリンター	5,231	5,110	4,960	-271	-150
構成比 IJP	83%	84%	83%		
SIDM	8%	8%	8%		
その他	9%	8%	9%		
プロフェッショナルプリンティング	1,978	1,940	1,950	-28	+10
その他	173	190	190	+16	-
事業間売上収益	-16	0	0	+16	-
セグメント利益	948	1,010	880	-68	-130
セグメント利益率	12.9%	14.0%	12.4%		

20

- プリンティングソリューションズの業績予想はご覧の通りです。
- 売上収益は、140億円の下方修正となります。  
プリンター事業は、大容量インクタンクモデル本体が、環境変化に対応するため、拡販施策を実施し、通期での販売台数は30万台の減少にとどめ、前期比18%増の920万台とします。  
また、インクカートリッジモデル本体は、市場が停滞するなか、価格施策を維持することから、販売台数を下方修正しました。  
これらの結果、インクジェットプリンター合計の販売台数予想を、前回予想の1,650万台から1,570万台に修正しました。  
インクの売上収益は、インクカートリッジモデル本体の修正を受け、予想を修正しました。  
SIDMは、中国経済停滞の影響により、前年同期を下回る水準に修正しました。
- プロフェッショナルプリンティングについては、大きな変更はありません。
- セグメント利益は、売上収益の修正により下方修正しました。  
なお、ビジネスモデル転換の進捗を踏まえ、プリントヘッド部品に係る在庫評価減の計上方法の変更を検討しており、2018年度期末に変更によるプラス影響を含んでいます。

(億円)

ビジュアルコミュニケーション	2017年度 実績	2018年度 前回予想	2018年度 今回予想	前期比	前回予想比
売上収益	1,988	1,990	1,980	-8	-10
セグメント利益	244	200	190	-54	-10
セグメント利益率	12.3%	10.1%	9.6%		

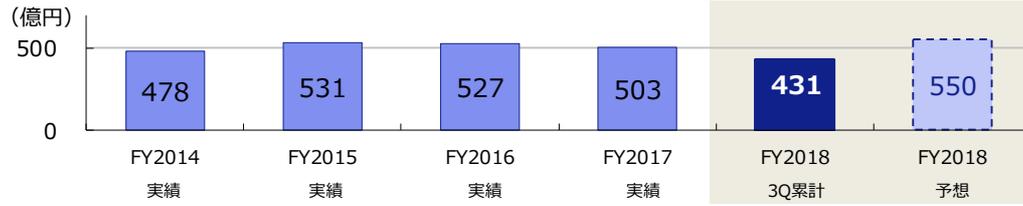
ウェアラブル・産業プロダクツ	2017年度 実績	2018年度 前回予想	2018年度 今回予想	前期比	前回予想比
売上収益	1,673	1,670	1,620	-53	-50
ウェアラブル機器	503	480	490	-13	+10
ロボティクスソリューションズ	246	260	230	-16	-30
マイクロデバイス他	989	990	960	-29	-30
事業間売上収益	-66	-60	-60	+6	-
セグメント利益	71	100	70	-1	-30
セグメント利益率	4.3%	6.0%	4.3%		

21

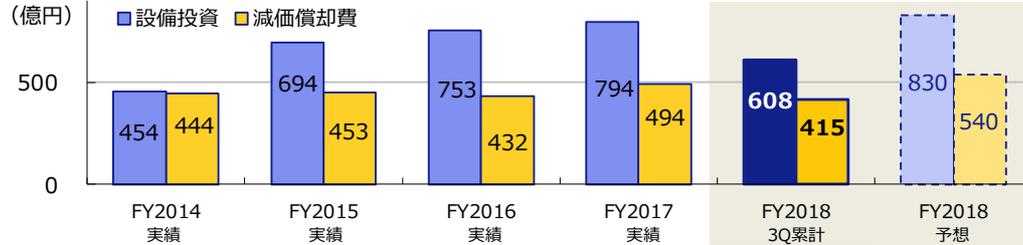
- ▶ ビジュアルコミュニケーションは、売上収益、セグメント利益の予想を引き下げました。
- ▶ ウェアラブル・産業プロダクツは、  
ロボティクスソリューションズとマイクロデバイス他の予想を引き下げました。

# 主要費用・設備投資

## 研究開発費



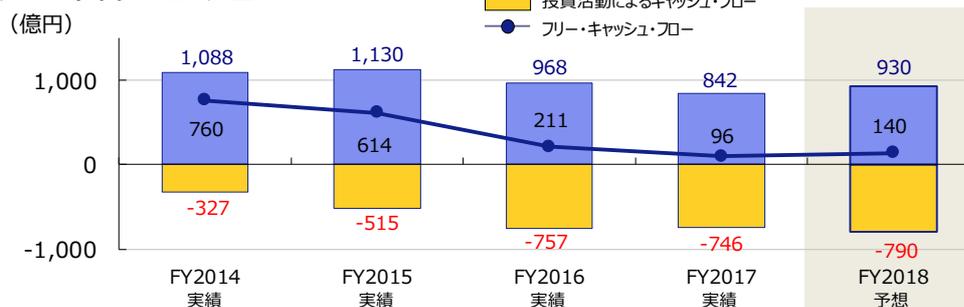
## 設備投資・減価償却費



	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
プリンティングソリューションズ	386	228	490	290
ビジュアルコミュニケーション	69	73	130	100
ウェアラブル・産業プロダクト	87	69	130	90
その他・全社費用	65	43	80	60

- 研究開発費、および設備投資の実績と予想はご覧のとおりです。  
予想は前回から変更ありません。

## フリー・キャッシュ・フロー



## 主な経営指標

(%)	FY2014 実績	FY2015 実績	FY2016 実績	FY2017 実績	FY2018 予想
<b>ROS</b> 売上収益 事業利益率	9.3	7.8	6.4	6.8	6.1
<b>ROA</b> 資産合計 事業利益率	10.6	8.7	6.9	7.4	6.3
<b>ROE</b> 親会社所有者帰属持分 当期利益率	26.3	9.5	10.1	8.3	9.5

➤ 2018年度のキャッシュ・フローの予想は業績予想の変更に合わせ、営業活動によるキャッシュ・フローは、930億円に変更し、投資活動によるキャッシュ・フローは、790億円を据え置き、その結果、フリー・キャッシュ・フローは、140億円と予想します。

➤ 以上の業績予想に基づく2018年度の主な経営指標は、ROSが6.1%、ROAが6.3%、ROEが9.5%となります。

➤ 以上

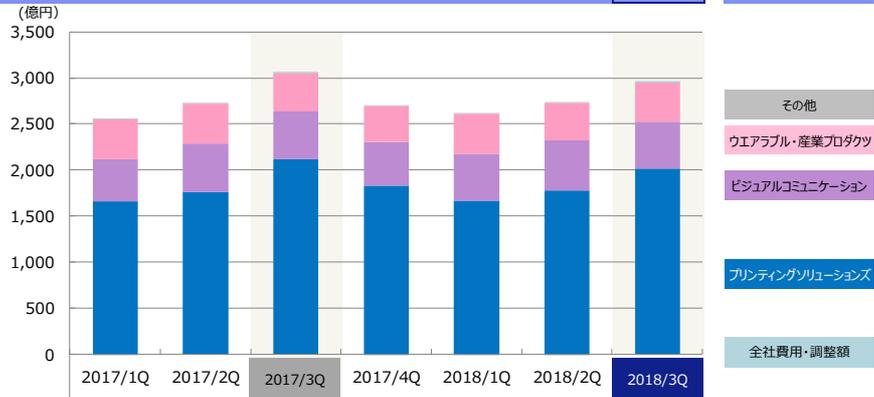
## 補足資料

# 四半期 売上収益推移 | 事業セグメント別



為替レート (円)	USD	111.08	111.00	112.92	108.39	109.06	111.46	112.80	-0.12
	EUR	122.12	130.36	132.96	133.20	130.09	129.66	128.73	-4.23

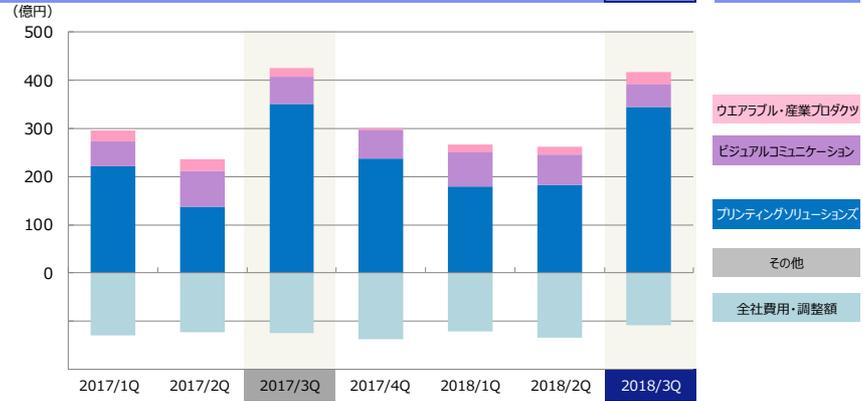
売上収益 (億円)	2017/1Q	2017/2Q	2017/3Q	2017/4Q	2018/1Q	2018/2Q	2018/3Q	前年同期比
プリンティングソリューションズ	1,659	1,761	2,116	1,829	1,666	1,780	2,017	-98
ビジュアルコミュニケーション	463	528	516	480	514	539	510	-6
ウェアラブル・産業プロダクツ	430	432	423	386	431	409	419	-4
その他	2	2	2	2	2	2	2	+0
全社費用・調整額	-8	0	2	-13	-9	-13	17	+14
<b>連結合計</b>	<b>2,548</b>	<b>2,725</b>	<b>3,061</b>	<b>2,686</b>	<b>2,604</b>	<b>2,719</b>	<b>2,966</b>	<b>-95</b>



# 四半期 事業利益推移 | 事業セグメント別



為替レート (円)	USD	111.08	111.00	112.92	108.39	109.06	111.46	112.80	-0.12
	EUR	122.12	130.36	132.96	133.20	130.09	129.66	128.73	-4.23
事業利益 (億円)		2017/1Q	2017/2Q	2017/3Q	2017/4Q	2018/1Q	2018/2Q	2018/3Q	前年同期比
プリンティングソリューションズ		221	138	351	237	179	183	344	-6
ビジュアルコミュニケーション		52	74	56	60	71	63	47	-8
ウェアラブル・産業プロダクツ		23	24	19	3	17	16	27	+7
その他		-1	-1	-1	-0	-1	-0	-1	+0
全社費用・調整額		-128	-122	-123	-137	-120	-134	-108	+14
<b>連結合計</b>		<b>167</b>	<b>113</b>	<b>303</b>	<b>163</b>	<b>146</b>	<b>127</b>	<b>309</b>	<b>+6</b>



# 主要製品の販売動向

## ■ 実績および予想（前年同期比）

ASP,売上収益は日本円換算後

製品		FY2017 通期(実績)	FY2018 1Q(実績)	FY2018 2Q(実績)	FY2018 3Q(実績)	FY2018 通期(予想)
為替レート (円)	USD	110.85	109.06	111.46	112.80	110.00
	EUR	129.66	130.09	129.66	128.73	127.00
IJP 本体	数量	+8%	+5%	-3%	-13%	-2%
	数量構成比 大容量*/ オフィス	50%弱/ 15%超	-	-	-	60%弱/ 約15%
	ASP	+10%台前半	+1桁%台半ば	+1桁%台後半	+1桁%台後半	前期並み
	売上収益	+20%台前半	+1桁%台後半	+1桁%台半ば	-1桁%台後半	-1桁%台前半
IJP インク	数量	-4%	-7%	-3%	-5%	-
	ASP	+1桁%台半ば	前年同期並み	-1桁%台半ば	-1桁%台前半	-
	売上収益	+1桁%台前半	-1桁%台後半	-1桁%台後半	-1桁%台後半	-1桁%台後半
SIDM 本体	数量	-7%	+5%	+5%	-21%	-5%
	ASP	+1桁%台前半	前年同期並み	-1桁%台前半	-1桁%台前半	-1桁%台半ば
	売上収益	-1桁%台半ば	+1桁%台半ば	+1桁%台前半	-20%台前半	-10%程度
プロジェク ター	数量	+1%	+10%	+1%	-3%	+1%
	ASP	+1桁%台後半	前年同期並み	+1桁%台前半	+1桁%台前半	-1桁%台前半
	売上収益	+10%台前半	+10%台前半	+1桁%台前半	-1桁%台前半	前期並み

本資料は、エプソン内部の管理値に基づく指標です。 \*大容量インクプリンター：大容量インクタンク、大容量インクパック、高速ラインインクジェット複合機

## 海外売上収益

為替レート (円)	USD	111.08	111.00	112.92	108.39	109.06	111.46	112.80	-0.12
	EUR	122.12	130.36	132.96	133.20	130.09	129.66	128.73	-4.23

売上収益 (億円)	2017/1Q	2017/2Q	2017/3Q	2017/4Q	2018/1Q	2018/2Q	2018/3Q	前年同期比
米州	783	815	819	785	755	821	770	-49
欧州	502	521	682	626	528	520	636	-46
アジア・オセアニア	727	803	784	667	792	794	761	-23
海外売上収益計	2,012	2,140	2,286	2,079	2,076	2,137	2,168	-118
連結合計	2,548	2,725	3,061	2,686	2,604	2,719	2,966	-95

構成比	2017/1Q	2017/2Q	2017/3Q	2017/4Q	2018/1Q	2018/2Q	2018/3Q
米州	30.7%	29.9%	26.8%	29.3%	29.0%	30.2%	26.0%
欧州	19.7%	19.1%	22.3%	23.3%	20.3%	19.1%	21.5%
アジア・オセアニア	28.5%	29.5%	25.6%	24.8%	30.4%	29.2%	25.7%
海外売上収益計	79.0%	78.6%	74.7%	77.4%	79.7%	78.6%	73.1%

## 従業員数

期末従業員数 (人)	2016/3末	2017/3末	2017/12末	2018/3末	2018/12末	前期末比
国内	18,699	19,175	19,594	19,436	19,614	+178
海外	48,906	53,245	59,249	56,955	58,753	+1,798
連結合計	67,605	72,420	78,843	76,391	78,367	+1,976

# 主な業績指標

(億円)						(億円)				
	項目	FY2016 実績	FY2017 実績	FY2018 予想	FY2018 第1期 中計目標	項目	FY2016 実績	FY2017 実績	FY2018 予想	Epson 25 第1期累計
為替レート (円)	USD	108.38	110.85	110.00	115.00	USD	108.38	110.85	110.00	115.00
	EUR	118.79	129.66	127.00	125.00	EUR	118.79	129.66	127.00	125.00
プリンティング ソリューションズ	売上収益	6,866	7,366	7,100	8,050	営業CF	968	842	930	3,300程度
	セグメント利益	841	948	880	-	FCF	211	96	140	1,200程度
ビジュアル コミュニケーション	売上収益	1,796	1,988	1,980	2,000	設備投資	753	794	830	2,100程度
	セグメント利益	161	244	190	-	研究開発費	527	503	550	積極的に投下
ウェアラブル・ 産業プロダクト	売上収益	1,585	1,673	1,620	1,950					
	セグメント利益	78	71	70	-					
その他	売上収益	15	9	10	0					
	セグメント利益	△4	△5	△10	-					
全社・調整額	売上収益	△15	△17	△10	0					
	セグメント利益	△417	△511	△480	-					
連結合計	売上収益	10,248	11,021	10,700	12,000					
	事業利益	658	747	650	960					
	ROS	6.4%	6.8%	6.1%	8%					
	ROE	10.1%	8.3%	9.5%	継続的に 10%以上					

**EPSON**  
EXCEED YOUR VISION